

# 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2023 三重県 大会要項

## 1 主旨

三重県のユース年代において、長期にわたるリーグを通して、選手の育成及び指導者のレベルアップを目指す。

## 2 名称

高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2023 三重県(1部2部3部4部)

## 3 主催

一般社団法人三重県サッカー協会

## 4 主管

一般社団法人三重県サッカー協会2種委員会、各リーグ実行委員会

## 5 大会期間

- 【1部リーグ】 2023年 4月～12月
- 【2部リーグ】 2023年 4月～12月
- 【3部リーグ】 2023年 4月～9月
- 【4部リーグ】 2023年 6月～9月
- 【チャンピオンシップ】 チャンピオンシップは、1部、2部リーグの終了時期に関係なく3部、4部リーグが終了次第早い段階で行う。  
※日程については、各リーグの実行委員会において調整可能とする。

## 6 大会会場

四日市市中央フットボール場、松阪市総合運動公園、伊勢フットボールヴィレッジ、県内高校グラウンド他

## 7 大会参加資格

- (1) (公財) 日本サッカー協会2種に加盟されているチームであること。
- (2) 常時引率責任者がいること。
- (3) 4級以上の審判員がいること(または4級以上の審判員を用意できること)

## 8 複数(2nd、3rd、4th)チームの参加条件

- (1) 2ndまたは3rdまたは4thチームに常時、引率責任者がいること。
- (2) 各リーグの試合が重なった状態であっても審判ができること。
- (3) 会場確保等に対応できること。

## 9 大会方式

- 【1部リーグ】 ①10チームによる2回戦総当りのリーグとする。
- 【2部リーグ】 ①10チームによる2回戦総当りのリーグとする。
- 【3部リーグ】 ①1列14チームによる2並列のリーグとする。  
※リーグ編成は第1回実行委員会で決定  
②名称は3部A・3部Bとする。  
③14チームによる1回戦総当りのリーグとする。  
④1位と2位の計4チームによるチャンピオンシップを行う。
- 【4部リーグ】 ①試合数を確保し、選手の育成を目指すことを目標に、リーグ実行委員長会議において参加チーム数により並列数を決定する。また、前期・後期リーグ制の導入の検討を行い、大会方式を決定する。  
②名称は4部A・4部B…とする。  
③1位と2位によるチャンピオンシップを行う。

## 10 競技方法

### (1) 競技規則

令和4年度(公財)日本サッカー協会競技規則による。

### (2) 順位決定

勝ち点制とする。勝…3 分…1 負…0

ただし、勝ち点が同じ場合には、下記のとおり順位を決定する。

- ①得失点差
- ②総得点
- ③当該チーム間の対戦結果
- ④当該チーム間の得失点差
- ⑤当該チーム間の総得点
- ⑥抽選

### (3) 試合時間

1部・2部90分、3部・4部80分とする。

飲水タイムおよびクーリングブレイクは乾球31℃以上またはWBGT28℃以上を目安として実施する。

### (4) 登録

①1部・2部・3部リーグの登録人数を30名までとし、各ウインドウで登録する。3部リーグの登録人数は、そのチームの最下位チームに限り、登録人数を無制限とし、各ウインドウで登録することができる。4部リーグの登録人数を無制限とし、各ウインドウで登録する。

同一選手の複数リーグを跨いだ登録はできないものとする。ただし、GKに限りブロック制度を設ける。

試合当日、登録した選手から先発選手11名と交代選手14名の最大25名をエントリーする。

1年生については入学日以降、登録枠に空きがある場合のみ追加登録できるものとする。ただし、大会期間中に登録メンバーが11名を切ったチームは、その状況に応じ、1年生に限らず随時追加登録することができるが、必ず事前に各リーグ実行委員長に連絡する。

②交代人数は試合開始前に登録した最大14名から計5名までとし、交代の際は必ず交代用紙を使用する。

③当日の試合登録は県リーグ用メンバー用紙を使用し、原則15分前までに本部へ提出。

#### ●GKのブロック制度について

◇1部から3部リーグに所属するチームは、ブロックGKを必ず1名選出し、それ以外のGKをブロック外GKとする。

◇ブロック外GKは、チーム直下(1stチームなら2ndチームにのみ)のリーグにも登録することができる。その際、ブロック外GKをチーム直下のリーグにおいてブロックGKで登録することはできない。

◇ブロック外GKはチーム直下のリーグに出場する場合、FPとして出場することはできない。

◇ブロック外GKは、同じ試合日に出場できる機会は一度までとする。

#### ●プリンスリーグブロック制度について

〈プリンスリーグ東海ルール〉

◇フィールドプレーヤーは13名ブロックされ、GKは1名のみブロックされる。

◇30名登録、ウインドウ3回、ブロック選手14名(内GK1名)

◇選手決定方法(初回)→チーム申請→(2回目以降)→出場試合時間

◇ブロック外選手は、チーム直下のリーグにも出場できる。

### (5) ユニフォーム

①必ず2種類用意し、持参する。(GKにおいても同じ)

②原則として、対戦表左側のチームをホーム、右側のチームをアウェイとする。

### (6) 試合球

①各チームに配給されたものを持ち寄りとする。

1部・2部:ヴァンタジオ4900(2球) 3部・4部:ペレーダ4000(2球)

### (7) 審判

①主審・AR・4thの4名で、試合開始前の審判打ち合わせを必ず行う。

②1部:主審は協会派遣審判とし、担当チームからAR・4thの3名を出すこと。  
(ARフラッグはチーム持ち寄り) また、ARは審判服を着用すること。

③2部:担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。  
(ARフラッグはチーム持ち寄り) また、主審・ARは審判服を着用すること。

④3部:担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。(ARフラッグはチーム持ち寄り)  
また、主審・ARは審判服を着用すること。

⑤4部:担当チームから主審・AR・4thの4名を出すこと。(ARフラッグはチーム持ち寄り)  
また、主審・ARは審判服を着用すること。

※各リーグをまたいで審判割当を行うことがある。

### (8) 選手の異動

①選手の異動はウインドウが開いた時のみ可とする。

②ウインドウを開く回数は3回とし、時期は下記の通りとする。

開幕前 ～ 4月6日(木) (1部・2部・3部のみ)

1回目 5月25日(木) ～ 5月31日(水) (4部はこの期間で開幕前登録)

2回目 6月13日(火) ～ 6月16日(金)

3回目 8月17日(木) ～ 8月23日(水)

4回目 11月8日(水) ～ 11月14日(火) (1部・2部リーグのみ)

③選手が本リーグ期間中に異動をした場合、当該選手は異動後から次のウインドウが開くまでは異なったチームから出場することはできない。

## (9)懲罰規定

☆ 警告の累積、退場処分等の懲戒適用については「(公)日本サッカー協会 発の『育成年代リーグ戦における懲罰適用の考え方について』2012.4.12(通達)」に沿うものとする。

### 【警告の累積について】

①警告の累積による公式試合の出場停止試合数は以下の通りとする。なお同一試合で2回の警告を受けて退場処分を受けた場合には、その2回の警告は累積に加算しない。

(1) 1チームの最大試合数が9試合以下のリーグの場合:

警告の累積が2回に及んだ選手は、当該リーグの次の1試合を出場停止処分とする。

(2) 1チームの最大試合数が10試合以上19試合以下のリーグの場合:

警告の累積が3回に及んだ選手は、当該リーグの次の1試合を出場停止処分とする。

(3) 各リーグにおいて警告の累積による出場停止を繰り返した場合には、2回目以降については2試合の出場停止処分とする。

②累積警告による出場停止処分については当該リーグのみで消化されるため、複数チームをリーグ戦にエントリーしていたとしても、累積警告を受けたリーグでのみ消化される。

※選手登録変更ウインドウが開いて、仮に1部リーグから2部リーグへと異動した場合でも1部リーグで受けている警告および累積警告による出場停止処分は1部リーグに残ったままとし、2部リーグでは消化できない。

※累積警告については、リーグ戦と東海プリンス参入戦および県内チャンピオンシップでは切り離して考えるため、リーグ最終節時点での累積警告については、最終節終了後消滅する。

### 【退場による出場停止処分】

退場による出場停止処分を受けた場合、その出場停止処分を科された当該リーグ戦(チャンピオンシップ等含む)において処分を消化する。ただし、ウインドウが開き、異なるレベルのリーグに異動した場合は、未消化の退場による出場停止処分は異動したリーグへ持っていく。また、リーグ戦の終了時によって残存した退場による出場停止処分については順次、次の公式戦に適用される。

その後の処置については本大会規律委員会(当該リーグ実行委員長、2種専門委員長、2種審判委員長、リーグ事務局)において決定する。

## (10)試合中における中止・中断の決定

・試合中における中断の決定については、会場責任者の判断に委ねるものとする。その後の試合再開に関しては、各リーグ実行委員会で決定した規定に沿うものとする。

・試合中における中止の決定については、各リーグ実行委員長の判断に委ねるものとする。その後の処置は実行委員会において協議の上決定する。

①前半終了後に中止された場合は、その時点のスコアで試合成立とする。

②一方の責任により中止になった場合は、帰責事由のあるチームを0対3で敗戦したものとすることが原則ではあるが、スコアに関しては実行委員会で決定できる。

・雨天決行とする。ただし、朝6:00の段階で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発令されている場合、競技は中止とする。その後警報・警戒宣言が解除された場合、大会役員、引率職員および関係者と開催について協議する。

## 11 参加費

(受益者負担の原則の下、各リーグで調整可能。ただし、2種企画役員会の承認が必要)

1部リーグ 6万円  
2部リーグ 4万円  
3部リーグ 1万円  
4部リーグ 1万円

## 12 表彰

(1)表彰式を、1部・2部リーグは最終節終了時に、3部・4部はチャンピオンシップ終了時に行う。

(2)1部・2部リーグは優勝(優勝カップ、賞状)・準優勝(賞状)のチーム、得点王を表彰する。

(3)3部・4部リーグはチャンピオンシップの結果により、優勝(優勝カップ、賞状)・準優勝(賞状)・第3位(賞状)のチームを表彰する。

## 13 参加申込み

所定の申込用紙にて、事務局まで申し込みを行う。

申込み締め切り 1部・2部・3部リーグ 2月22日(水)締切  
4部リーグ 4月20日(木)締切  
\*複数チーム参加申請書についても同様

大会参加申込み用紙(所属長印押印)

1部・2部・3部リーグ 4月6日(木)までに各リーグ実行委員長に提出  
4部リーグ 第1回4部リーグ実行委員会時に4部リーグ実行委員長に提出

# 高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2023 三重県 リーグの編成について

## 1 2023年度リーグ編成

### 《2並列の3部リーグ編成方法》

- ①2部10位を3部Aの1段目に3部CS1位を3部Bの1段目に位置づける。
- ②3部CS4位を2段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ③3部の3位から6位までの8チームを3～6段目まで順に位置づける。なお、各順位ごとで抽選し、それぞれ左右いずれに位置するか決定する。2段目に空きがある列を上へ詰める。
- ④3部A7位を6段目の空きに位置づける。
- ⑤3部の8位から9位までの4チームを7～8段目まで順に位置づける。なお、各順位ごとで抽選し、それぞれ左右いずれに位置するか決定する。
- ⑥3部A10位を9段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑦3部11位の2チームを10段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するか抽選とする。9段目に空きがある列を上へ詰める。
- ⑧3部B12位を10段目の空きに位置づける。
- ⑨3部B13位を11段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑩3部B14位を11段目の空きに位置づける。
- ⑪4部CS2位を12段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑫4部C2位を12段目の空きに位置づける。
- ⑬4部3位の2チームを13段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するか抽選とする。
- ⑭4部B4位を14段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑮3部昇格決定戦勝者を14段目の空きに位置づける。

### 《2並列の4部リーグ編成方法》

- ①3部A13位を4部Aの1段目に、3部A14位を4部Bの1段目に位置づける。
- ②4部A1位を2段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ③4部B3位を2段目の空きに位置づける。
- ④4部A4位と4部C4位の2チームを3段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑤4部B5位と4部C5位の2チームを4段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑥4部6位の3チームを5段目と6段目の右にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑦4部7位の3チームを6段目の左と7段目にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑧4部8位を8段目に位置づける。なお、左右いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑨新規参入のチームを抽選で位置づける。

プレミアリーグ(三重県は該当チームなし) プリンスリーグ(海星)						
	1部	2部	3部A	3部B	4部A	4部B
1	四日市中央工業 (1部1位)	伊賀白鳳 (1部10位)	白子 (2部10位)	四日市中央工業3rd (3部CS1位)	神戸 (3部A13位)	暁 (3部A14位)
2	津工業 (1部3位)	四日市中央工業2nd (2部3位)	宇治山田商業2nd (3部CS4位)	三重3rd (3部B3位)	★宇治山田商業3rd (4部A1位)	伊勢工業2nd (4部B3位)
3	宇治山田商業 (1部4位)	津工業2nd (2部4位)	海星3rd (3部A3位)	高田 (3部B4位)	木本 (4部A4位)	津工業4th (4部C4位)
4	三重 (1部5位)	三重2nd (2部5位)	伊勢工業 (3部A4位)	四日市工業3rd (3部A5位)	皇學館 (4部B5位)	津西2nd (4部C5位)
5	近大高専 (1部6位)	四日市工業2nd (2部6位)	津西 (3部B5位)	津工業3rd (3部B6位)	白山 (4部A6位)	伊勢学園 (4部B6位)
6	四日市四郷 (1部7位)	鈴鹿 (2部7位)	津 (3部A6位)	伊勢 (3部A7位)	大橋学園 (4部A7位)	青山 (4部C6位)
7	四日市工業 (1部8位)	四日市南 (2部8位)	名張青峰 (3部A8位)	亀山 (3部B8位)	石薬師 (4部B7位)	桑名北 (4部C7位)
8	いなべ総合学園 (1部9位)	久居農林 (2部9位)	鈴鹿2nd (3部B9位)	上野 (3部A9位)	★志摩 (4部C8位)	新規参入
9	稲生 (2部1位)	桑名西 (3部CS2位)	桑名 (3部A10位)	松阪工業 (3部A11位)	新規参入	新規参入
10	海星2nd (2部2位)	宇治山田 (3部CS3位)	川越 (3部B11位)	四日市西 (3部B12位)	新規参入	新規参入
11			名張 (3部B14位)	相可 (3部B13位)	新規参入	新規参入
12			桑名工業 (4部CS2位)	津田学園 (4部C2位)	新規参入	新規参入
13			松阪 (4部C3位)	四日市四郷2nd (4部A3位)	★が先に抽選し、左右いずれに位置するか決定する	
14			津東 (4部B4位)	久居 (3部昇格決定戦勝者)		

《3並列の4部リーグ編成方法》

- ①3部A13位、3部A14位、4部A1位を順にA・B・Cの1段目に位置づける。
- ②4部B3位をCの2段目に位置づける。
- ③4部A4位と4部C4位の2チームをA・Bの2段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ④4部B5位と4部C5位の2チームをA・Bの3段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑤4部6位の3チームをCの3段目とB・Cの4段目にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑥4部7位の3チームをAの4段目とA・Bの5段目にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑦4部C8位をCの5段目に位置づける。
- ⑧新規参入のチームを抽選で位置づける。

《4並列の4部リーグ編成方法》

- ①3部A13位、3部A14位、4部A1位、4部B3位を順にA・B・C・Dの1段目に位置づける。
- ②4部A4位と4部C4位の2チームをC・Dの2段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ③4部B5位と4部C5位の2チームをA・Bの2段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ④4部6位の3チームをA・B・Cの3段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑤4部7位の3チームをDの3段目とC・Dの4段目にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑥4部C8位をBの4段目に位置づける。
- ⑦新規参入のチームを抽選で位置づける。

《5並列の4部リーグ編成方法》

- ①3部A13位、3部A14位、4部A1位、4部B3位を順にA・B・C・Dの1段目に位置づける。
- ②4部A4位と4部C4位の2チームをEの1、2段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ③4部B5位と4部C5位の2チームをC・Dの2段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ④4部6位の3チームをA・Bの2段目とAの3段目にコの字型で位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑤4部7位の3チームをB・C・Dの3段目に位置づける。なお、いずれに位置するかは抽選とする。
- ⑥4部C8位をEの3段目に位置づける。
- ⑦新規参入のチームを抽選で位置づける。

## 2 チャンピオンシップ及び入替戦

(試合時間) 1部2部入替戦は90分とし、3部CS、4部CS、3部4部入替戦などは80分とする。  
(試合方式) 決しない場合は、PK戦を行う。

### [1] 1部リーグと2部リーグとの入替え方法

1部リーグからの降格は、原則、下位2チームとする。

2部リーグからの昇格は、原則、上位2チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、2部4位のチームまで昇格権を与える。その際、2部3位は自動昇格とし、2部4位は1部リーグの下位チームと入替戦を行う。

#### 【入替戦の例】

- ① 2部の3位までに1チーム昇格し2部4位に昇格権が回った場合  
1部の9位 vs 2部の4位 → 勝者は次年度1部、敗者は次年度2部となる
- ② 2部の3位までの3チームに昇格権がなく、2部4位に昇格権が回った場合  
1部の9位は1部へ残留  
1部の10位 vs 2部の4位 → 勝者は次年度1部、敗者は次年度2部となる

### [2] 2部リーグと3部リーグとの入替え方法

2部リーグからの降格は、原則、下位2チームとする。

3部リーグからの昇格は、3部チャンピオンシップにより決定した上位2チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、3部チャンピオンシップで決定したCS3位、CS4位、3部A・Bの3位までのチームに順次昇格権を与え、入替戦を行わず自動昇格とする。

#### 【3部チャンピオンシップ】

3部A・Bの上位2チームの計4チームによるチャンピオンシップを行う。

- ① 3部Aの1位 vs 3部Bの1位 → 勝者は3部優勝、敗者はマッチ③を行う
  - ② 3部Aの2位 vs 3部Bの2位 → 勝者はマッチ③、敗者は3部4位となる
  - ③ ①の敗者 vs ②の勝者 → 勝者は準優勝、敗者は3部3位となる
- ※ 上記の結果により決定した1位～4位の順位に従い、昇格権を与える。  
※ ③において同リーグ同士での対戦となった場合、試合を行わず、同リーグの順位に従い勝者を定める。

### [3] 3部リーグと4部リーグとの入替え方法

3部リーグからの降格は、原則、3部A・Bの12位～14位の計6チームとする。ただし、4部リーグから昇格するチームが6チームに満たない場合、チーム数により各順位による3部残留戦を行い、勝者を3部残留とする。

4部リーグからの昇格は、4部チャンピオンシップにより決定した上位6チームとし、入替戦を行わず自動昇格とする。ただし、複数チームが同居できないという条件から上位6チームに昇格権がない場合は、4部4位までのチームに順次昇格権を与える。4部3位までは入替戦を行わず自動昇格とし、4部4位は3部リーグの下位チームと入替戦を行う。その際、必要に応じて、4部昇格権決定戦と3部残留権決定戦を行い、昇格枠数に応じて以下の方法で入替戦を行う。

#### 【入替戦の例】

- 【昇格枠数が1枠の場合】 ① 3部残留権決定戦の勝者vs4部昇格権決定戦の勝者 → 勝者が次年度3部
- 【昇格枠数が2枠の場合】 ① 3部残留権決定戦の勝者vs4部昇格権決定戦の敗者 → 勝者が次年度3部
- ② 3部残留権決定戦の敗者vs4部昇格権決定戦の勝者 → 勝者が次年度3部

※4部チャンピオンシップについては、参加チーム数が確定した直後に開催される第1回リーグ実行委員長会議において並列数および大会方式が決まり次第、合わせて協議して決定する。

#### 【4部チャンピオンシップ(2並列の場合)】

3部チャンピオンシップと同様の方法で行う。

#### 【4部チャンピオンシップ(3並列の場合)】

4部1位リーグで1～3位を決定する。

《4部1位リーグ》

- ① 4部○の1位 vs 4部△の1位
- ② 4部○の1位 vs 4部□の1位
- ③ 4部△の1位 vs 4部□の1位

#### 【4部チャンピオンシップ(4並列の場合)】

- ① 4部○の1位 vs 4部△の1位 → 勝者はマッチ⑤、敗者はマッチ⑥を行う
- ② 4部□の1位 vs 4部×の1位 → 勝者はマッチ⑤、敗者はマッチ⑦を行う
- ③ 4部○の2位 vs 4部△の2位 → 勝者はマッチ⑦、敗者はマッチ⑧を行う
- ④ 4部□の2位 vs 4部×の2位 → 勝者はマッチ⑥、敗者はマッチ⑧を行う
- ⑤ ①の勝者 vs ②の勝者 → 勝者は4部優勝、敗者は4部準優勝となる
- ⑥ ①の敗者 vs ④の勝者 → 勝者はマッチ⑨、敗者はマッチ⑩を行う
- ⑦ ②の敗者 vs ③の勝者 → 勝者はマッチ⑨、敗者はマッチ⑩を行う
- ⑧ ③の敗者 vs ④の敗者 → 勝者は4部7位、敗者は4部8位となる
- ⑨ ⑥の勝者 vs ⑦の勝者 → 勝者は4部3位、敗者は4部4位となる
- ⑩ ⑥の敗者 vs ⑦の敗者 → 勝者は4部5位、敗者は4部6位となる

[複数(2nd・3rd・4th)チームの昇降格について]

2nd・3rd・4thチームは、1stまたは2ndまたは3rdチームの直下まで昇格できる。1stや2nd、3rdチームが降格した場合は2ndや3rd、4thチームは成績に関わらず降格する。複数チームの同居は認めず、4部リーグで同居になる場合は下位にあたるチームが消滅する。

### 3 2024年度リーグ編成について

- (1)1部リーグは10チームとする。
  - (2)2部リーグは10チームとする。
  - (3)3部リーグは14チームの2並列とする。
  - (4)4部リーグは参加チーム数により並列数を決定する。また、前期・後期リーグ制の導入を検討する。
  - (5)1部リーグからは原則、下位2チームが降格する。
  - (6)2部リーグからは原則、2チームが1部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件により上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、2部リーグ4位まで昇格権を与える。その際、2部3位は自動昇格とし、2部4位は1部リーグの下位チームと入替戦を行う。
  - (7)プリンスリーグからの降格と1部リーグ1位2位の残留が重なったことにより、10チームを超える場合は1部リーグ8位のチームが降格する。
  - (8)複数チームが同居しないという条件により2部リーグから昇格するチームが1または、ない場合は1部リーグ9位または10位のチームが順に残留する。
  - (9)(5)～(8)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて1部リーグが10チームを満たさない場合、2部リーグ5位以降のチームを順に昇格する。
  - (10)2部リーグからは原則、下位2チームが降格する。
  - (11)3部リーグからはチャンピオンシップにより原則、上位2チームが2部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件により上位2チームの一方または両方に昇格権がない場合は、3部チャンピオンシップで決定したCS3位、CS4位、3部A・Bの3位までのチームに順次昇格権を与え、入替戦を行わず自動昇格とする。3部A・Bの3位の2チームに対してひとつの昇格権が与えられた場合、昇格権決定戦を行う。
  - (12)複数チームは同居しないという条件により3部リーグから昇格するチームが1または、ない場合は2部リーグ9位または10位のチームが順に残留する。
  - (13)(10)～(12)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて2部リーグが10チームを満たさない場合、3部リーグ4位以降のチームを順に昇格とする。その際、必要に応じて昇格権決定戦を行う。
  - (14)3部リーグからは原則、下位6チーム(3部A、3部Bの12位～14位)が降格する。
  - (15)4部リーグからはチャンピオンシップにより原則、6チームが3部リーグに自動昇格する。ただし、複数チームが同居しないという条件から上位6チームに昇格権がない場合は、4部4位のチームまで順次昇格権を与える。4部3位までは入替戦を行わず自動昇格とする。なお、4部3位のチームに昇格権が与えられる場合、必要に応じて昇格権決定戦を行う。4部4位のチームに昇格権が与えられる場合、必要に応じて4部昇格権決定戦と3部残留権決定戦を行い、4部昇格権決定戦の勝者と3部残留権決定戦の敗者で入替戦を行う。
  - (16)複数チームは同居しないという条件により4部リーグから昇格するチームが6チーム未満の場合は3部リーグ12位以降のチームが順に残留する。その際、必要に応じて3部残留戦を行う。
  - (17)(14)～(16)でプリンスリーグ昇格や複数チームが同居しないという条件、もしくは、想定されていない事態が起きて3部リーグが28チームを満たさない場合、4部リーグ5位以降のチームを順に昇格とする。その際、必要に応じて昇格権決定戦を行う。
  - (18)想定されていない事態が起きて各リーグの定数を満たさなくなってしまう場合、下位リーグの上位チームから昇格させることで定数を満たすこととする。
- ※実際のリーグ編成については各リーグ実行委員長と共通理解を図りながら決定する。